

父母連ニュース

草加市保育園父母会連合会 機関紙

2009年度 第2号/2009年6月13日発行

発行責任者：高山 943-2616

浜園 925-4377



表面：総会の報告（ご来賓・2009年度父母連事務局役員）

裏面：4/24 保育園栄養士退職に伴う21年度栄養士採用の経緯及び21年度保育事業についての説明会のご報告・アンケートのお願い

5/17(日)「第24回草加市保育園父母連総会」報告

5月17日(日) 10:00~12:00 勤労福祉会館ホールにて、「第24回草加市保育園父母会連合会総会」を行いました。お忙しい中、木下草加市長をはじめ13名の来賓の方々や、19公立保育園父母会の新旧役員の皆さんなど計100名の参加がありました(保育は54名/あさひ保育園をお借りし、保育士の先生方10名による保育を行っていただきました。いつも保育を支えていただいていますことに、心より感謝申し上げます)。多くの方々の出席、誠にありがとうございました。

応援にかけつけてくださった来賓の方々から、あたたかなメッセージを頂戴しました。草加市として過去最高の待機児が生じている現状をどう打開して行くか?の問題提起とともに、次のようなご提案やアドバイスをいただきました。

■今後は公立保育所に限らず、家庭保育室や認可外保育所も含めた保育のあり方について、皆で意見交換をしていくことが大切である ■国の制度が目まぐるしく変わる中でも「子育て環境の整備」については、草加市独自の保育制度としてきちんと考えていかなければならない ■安易な民営化や不安定な臨時職員の採用ではなく、公的保育や安定した保育園の正規職員の採用を大切にしていかなければならない、などです。

また、国レベルの子育て支援制度として、今後は子育て応援特別手当てや幼児教育の無料化なども視野に入れていきたい、とのお話もありました。

これらのお話を伺いながら、まずは待機児解消を優先としながらも、子どもを生み育てやすい日本そして草加市であってほしい、と強く感じるとともに、またこの一年間、皆様とともに知恵と力を合わせながら、より良い子育て環境作りのために積極的に活動していかなければ、と感じました。

議事では、2008年度活動総括・報告・決算、2009年度活動方針・予算・新事務局員が無事に承認されましたので、ここにご報告いたします。

<2009年度の父母連活動方針の特徴として、大きく次の三点が確認されました>

- ①子どもの保育環境に配慮した待機児童解消のあり方について、早急に具体的な提言をしていくこと
 - ②厚生労働省「社会保障審議会少子化対策特別部会」提案による「新制度(保育における自治体責任の後退・直接契約・応益負担等)」についての学習会を行い、父母連としての考えを明らかにしていくこと
 - ③家庭保育室の充実と公立園における0歳児保育のあり方についての具体的な提言を行っていくこと
- * 総会資料は、2008年度の父母連活動や2009年度の方針に関する大切なものです。皆さん是非目を通して下さい。

<総会にご臨席いただいたご来賓のみなさん>

- 草加市長：木下博信 様
- 衆議院議員：細川律夫 様
- 県議会議員：山川百合子 様
- 県議会議員：蒲生徳明 様
- 草加市議会平成クラブ議員団：石村次郎 様
- 日本共産党草加市議会議員：平野厚子 様
- 草加市議会民主党議員団団長：新井貞夫 様
- 草加市家庭保育室連絡会会長：神谷薫 様
- NPO法人草加・元気っ子クラブ理事：
小池奈津夫 様
- 草加市学童保育の会会長：中田博子 様
- 草加市子ども未来部部長：新井誠様
- 草加市子ども未来部保育課長：大沢清司様
- 草加市職員労働組合保育部会：岩山妙子様
石井成明様

ありがとうございました！！

2009年度父母連事務局新役員

- 会 長：高山幸一郎(しんぜん保)
- 副会長：村松聖子(きたや保)・橋爪リエ(やはた保)
- 事務局長：中島幸代(しのは保)
- 事務局員：青木美代子(さかえ保)
鳩間志津代(やつかかみ保)
阿部善子(やつか保OB)・田村滋章(あずま保OB)
- 会 計：段 和志(あずま保)・浜園浩美(せざき保)
- 会計監査：長谷部恭子(こやま保OB)・立石道代(やはた保OB)

前会長の阿部からバトンタッチし、今年度から父母連の会長を務めることになりました。高山幸一郎です。私自身は昨年度末に上の息子を無事保育園から卒園させ、現在は下の娘(3才)との「保育園ライフ」です。父母連事務局にかかわるようになってから、草加の保育園がいかに素晴らしい実践をしているかがよく分かりました。裸足でのびのび育てる保育、自園直営方式のおいしい給食(完全給食は目指したいですが)、作物を育てて収穫して食べるという「食育」の実践..本当にありがたいです。一方で、父母連でいろいろ学習するうちに、草加だけでなく、全国の保育をとりにくく情勢が大きく変わろうとしていることもよく分かりました。直接契約制度や指定管理者制度等々、決して「他人事」ではなく、いつ草加の保育にも流れ込んでくるか分からない状況です。私たち保護者がしっかり知識を身につけ、この素晴らしい草加の保育実践を守っていきたいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。(2009年度父母連会長 高山幸一郎)

4/24(金)「保育園栄養士退職に伴う21年度栄養士採用の経緯及び

21年度保育事業についての説明会」のご報告！

父母連は、21年3月に上記説明会の実施を市にお願いをしていました。4/24(金)19:30～中央公民館第1会議室にて実施していただくことができました。以下にその概略をご報告します。

＜参加者＞草加市：総務部職員課豊田課長・子ども未来部新井部長・保育課大沢課長・福田保育係長・石川保育課職員 計5名
父母連：父母連事務局・各父母会役員を中心に約50名

※多くの保護者の皆様のご参加ありがとうございました。

※保育は、園長先生方が担当して下さいました。大変にありがとうございました。

1. 保育園栄養士退職(5名)に伴う21年度栄養士採用の経緯について

豊田職員課長：昨年度、栄養士は定年退職3人を見込んでいたところ、さらに再任用期間を残して1名、自己都合の早期退職1名、合計5名の退職があった。昨年度6月の各課定数要望集約では、保育課から栄養士3人分の補充の必要を確認していたため、子ども未来部部長と栄養士3人の退職補充については了解事項としていた。しかし保育園の給食を、今後「直営のままいくのか委託するのかの方針が定まっていなかった」ので、正規職員としての採用は無理という判断をした。欠員補充については、栄養士分の補充も含めた調理師の正職員配置を行い、栄養士配置を2園に1名にするとの考えもあるが、職員課が保育課と連絡を取らなかったために、それらの情報がひとり歩きしてしまったようだ。結果的には、退職予定枠の栄養士5名を補充する方針となり、募集を21年1月・2月にかけて、現在に至っている。

22年度栄養士採用の方針は、保育課と詰めて、皆さんに説明できるようにしたい。

大沢保育課長：保育課としては、コストが上がってしまうため、給食の外部委託は考えていない。ただ、今後は、栄養士と調理師の職員配置のバランスを検討していく方針である。

2. 保育園における与薬について：*以下、説明は大沢保育課長による

国の保育所保育指針が改訂され(21年4月1日から適用)、その中で、初めて保育園での与薬についての言及があった。草加市では、平成5年頃に「薬の取り扱いマニュアル」を作成しており、今までも慢性疾患やアレルギー疾患のための与薬は、園と保護者の十分な連携でやってきた。草加市としては従来どおりに取り扱っていく予定であったが、医師に処方された風邪薬等も普通に保育園で与薬できるとの情報が広まり、ある園では可能であるが、別の園では難しいなど、園による対応にバラつきが見られる等の混乱が起きてしまっているようだ。

今後は、全保育園の園長が“草加市のマニュアル・保育指針の内容”を理解し、説明できるようにする必要がある。また、この度の保育指針改訂を受けて、全園にシロップなど薬剤保管のための小型冷蔵庫を設置することにした。混乱なく円滑に取り扱えるよう、園医も含めて相談し、市の方針の保護者への周知を図りたい。(※「座薬は副作用の面から使用を避けたい」との市の回答があったが、救急車搬送の際の救急隊員からの指示による痙攣止めの座薬等の使用については、後日保育課から回答が有る予定。)

3. 21年度保育事業の説明

①現在、育成保育対象児は47人。育成保育士を7人増やす。

②給食の賄い材料費の予算増分は、保育士の自己負担増によるものである。

③就学前児童数はこの5年間で1500人も減少しているが、保育の申し込みは増え続け、今年度の(新規)申し込みは750人と過去最高である。4月1日の待機児は196人。毎月50人程度ずつ待機児は増える見込みである。緊急一時的な対策も必要かと考えている。待機児は深刻な課題である。これには「余裕面積」の活用を考えている。「詰め込み保育」とは違い、あくまでも国基準、草加市基準を守って、最低基準外の遊戯室の面積を保育室に振り替えて、その分受け入れを増やしていくというものである。このように、遊戯室の面積を保育室に振り替えれば、全体で350人の受け入れ増ができるし、たとえば新あずま保育園は定員110人であるところ、150人～200人の定員にすることも可能である。国の示す定員の弾力化どおり20%～25%までは行きたい。しかし現に入園しているみなさんの理解とご協力がないと一切できないことである。

☆☆ 父母連アンケートご協力のお願い ☆☆

今年度も毎年恒例の「父母連アンケート」を取りまとめたいと思います。みなさんが日頃感じている、保育園や子育てについての願いや心配、要望などを教えてください。みなさんからのご意見やご回答にもとづいて、父母連の今後の活動の方向性や市への要望等につなげていきます。

記入していただきましたら、各父母会のポストへ入れていただくなどして父母会単位で集めて集計した後、父母連事務局に届けていただくようにします。よろしくお願いたします。

